

バスで行く！

千葉の小々な旅

BUS
第17回



千葉県マスコット
キャラクター テーパくん
千葉県許諾 第A3-17号



今回の路線

JRバス関東 多古本線 JR成田駅行



八日市場～成田路線で活躍中、ツバメのマークが輝くエアロスター

今回ご紹介している、JR総武本線八日市場駅を出発し成田駅方面に向かうバス路線を運行するのはJRバス関東株式会社。JR東日本グループのバス会社です。

一般路線のバスでは、関東地方の茨城県・栃木県・群馬県・千葉県のほか、東北地方の福島県、中部地方の長野県の各一部地域にも路線を持っています。

また多数の高速バス路線を展開していて、国鉄時代に開業した「東名ハイウェイバス」以来のパイオニアとして、東京駅JR高速バスターミナルやバスタ新宿を起点に、関東圏・東北・中部・関西・中国・四国へ、昼行・夜行高速バスを運行しています。

今回ご紹介する車両は三菱ふそう「エアロスター」(2005年製)です。エアロスターは1984年、三菱自動車工業製の大型路線バス「MPシリーズ」をフルモデルチェンジして誕生した車両で、先にデビューしていた観光型のエアロバスに次いでその名が付けられました。

エアロスターは1996年にフルモデルチェンジを実施。1997年には国産バス初の本格的なノンステップバスがラインナップに加えられました。

車体のカラーリングは青と白。そして輝くツバメマーク。このツバメのルーツはJRが国鉄であった時代の1930年までさかのぼるとのこと。公募を元に付けられた特急列車の名前が「燕」でした。その後、国鉄バスのシンボルマークにも採用され、今現在まで使用されています。



◀成田山前停留所付近を走行する2003年式日野レインボーHR。

路線バスのワンポイント知識

路線バスにはどんな種類がある？

【大型バス】

およそ全長10m～11.5m、車幅2.5m程度のボディを持ち、最大で80名超の乗車定員が設定されている、最も大きなバスです。

【中型バス】

おおむね全長9m～11m、車幅2.3m程度のやや狭いボディの全幅を利点として、オールマイティに運行されています。

【小型(コミュニティ)バス】

自治体の運行による100円バスなど、狭いエリアでの“住民の足”となっている小型のバスです。

●成田山表参道

今も昔も参詣客でにぎわう成田山新勝寺の表参道。成田駅前から約800m続く道には150店以上の飲食店や土産店が並んでいます。江戸時代から門前町として栄えた当時の名残をとどめる建造物も多く残され、歴史を感じる風景も堪能できます。

●所在地／成田市本町他



●成田市三里塚御料牧場記念館

1969年、成田空港建設に伴い「宮内庁下総御料牧場」が栃木県に移転。その跡地にできたのが三里塚御料牧場記念館です。およそ100年にもなる宮廷牧場としての歴史の資料の他、日本の畜産振興の実績なども展示されています。

●問い合わせ／
成田市三里塚御料1-34 TEL.0476-35-0442



●正東山日本寺

日本寺は1319年、日祐上人によって建立されました。別名「あじさいのお寺」としても有名で、植えられているあじさいの数はなんと約8,000株。初夏になると色とりどりのあじさいが一斉に花を咲かせ、訪れる人の目を楽しませてくれます。

●問い合わせ／
香取郡多古町南中1820-1
TEL.0479-76-3745



●しづやかすけ 澁谷嘉助旧宅正門

多古町出身の澁谷嘉助は、日本で初めて火薬を輸入した人物。その生家は1910年ごろの建築で、正門は長屋門のようにっており、イギリス積みといわれる、非常に頑強な方法で煉瓦が積まれています。

門の中にも入ることができ、静かな庭園を散策することもできます。この正門は国の登録有形文化財に指定されています。

●所在地／香取郡多古町北中83



八日市場駅を出発。多古町の田園地帯を走り抜け成田山新勝寺を目指します。

今回の小さな旅は、JR総武本線八日市場駅を出発し成田山新勝寺を目指す約1時間半ほどの旅。

出発点となる八日市場駅ができたのはなんと1897年のこと。120年以上前から鉄道の拠点として活躍しています。駅舎の緑色の屋根瓦の美しさがとても印象的です。建設時期は不明とされていますが、かなりの歴史を感じる佇まいです。

駅を出発したバスは市街地を走り、しばらくすると窓から見える風景に緑が次第に増えてきます。大きな家の生垣や小さな森が目立ち始め、森の中の一本道を通るかと思えば、いきなり風景が開けます。そして多古米で有名な多古町に入ると遠くまで水田が広がる田園風景が現れます。

走ること20分ほど。「南中」停留所のすぐ近くには味わい深いおすすめお立ち寄りポイントが2か所。停留所のすぐ近くに正東山日本寺と、澁谷嘉助旧宅正門があります。

そしてバスは空港を横目で見ながら成田市内へ。道沿いの住宅の姿も増えはじめ、いよいよゴールが近づいてきたことを感じさせます。この辺りでも、ぜひ立ち寄りしたいポイントが1か所。「三里塚」停留所から近い、成田市三里塚御料牧場記念館です。

さて、バスはいよいよゴールへ。成田駅からもほど近い成田山新勝寺へ向かいます。バスが門前近くの停留所に近づくとつれ、周りには楽しい商店が増え、降りる前からワクワクしてきます。到着地点は総門のすぐ手前。ここから表参道を歩いて行けば、成田駅に行くこともできます。



今回の旅はJR総武本線八日市場駅からスタート。駅前ロータリーが広く、開放的です。

※現地の時刻表に基づき取材をしています。曜日・季節・天候により時刻表・ルートが変更になる場合があります。



日本中から参詣者が集まる日本有数の寺院、成田山新勝寺

今回のバスの旅の終着点はこちら成田山新勝寺。1080余年の歴史を持ち千葉の方はもちろん、日本中から年間1,000万人を超える参詣者が訪れる全国有数の寺院です。

バスが到着したのは総門のすぐ手前。表参道の終点のような場所。歩けばすぐに総門に到着します。

総門で最初のご挨拶をし、階段を上っていくと約5分ほどで大本堂へ。大本堂にはご本尊の不動明王を中心に四大明王、平成大曼荼羅などが奉安されています。ここで参拝を済ませると、旅の終わりのような気持ちになってしまいますが、実は大本堂のある場所は成田山のほんの一角。その背後には東京ドーム約3.5個分(16万5,000m²)にも及ぶ広大な公園が整備されています。

梅・桜・藤・菊・紅葉など四季折々に変化する美しい姿は、参詣に訪れる方々の大きな楽しみにもなっています。春には梅まつり、秋には紅葉まつりなど季節

を楽しむイベントも行われています。

公園内には遊歩道が整備され、西洋庭園や美しい池など見どころも豊富。各所には松尾芭蕉や高浜虚子など著名な文人たちの句碑があり、先人の足跡を感じることができます。ここで心行くまで散策を楽しみ、表参道で乾いたのどを潤す。そんな時間を過ごされる方も多いのではないのでしょうか。



▲荘厳な雰囲気の大総門は、高さ15mの総檜造り。成田山の表玄関として、多くのご参詣者を迎えています。

▶三重塔。1712年に建立された重要文化財です。



●問い合わせ／**大本山成田山新勝寺**
成田市成田1 TEL.0476-22-2111(代)



イチ押しグルメ

エムクッペ

佐倉市大崎台1-2-11
TEL.043-486-3335

- 営業時間/月~金 9:00~19:00
土 9:00~18:00
- 定休日/日、祝日

ふんわり食感の「絹入りコッペサンド」が大人気の焼き立てベーカリー

焼き立てベーカリー「エムクッペ」はJR佐倉駅南口から徒歩0分!駅の階段を降りてすぐのところにあるパン屋さんです。一步店内に入れば、そこには数十種類のパンが並び、パン好きはうれしさのあまりに買いすぎ注意のお店です。

特にふんわり食感の「絹入りコッペサンド」シリーズが大人気!1番人気の

「牛肉入りコロッケ」など20種類以上の厳選具材で味、ボリューム共に大満足のコッペサンドです。

また天使の羽根のようにふんわりしっとり耳までやわらかく、口どけの良い優しい甘さの「天使の羽根マスカルポーネ食パン」も数量限定販売中。こちらも大人気ですので、予約がおすすめです。



《バスで行く! 千葉の小さな旅》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「バスで行く! 千葉の小さな旅」の第17回をご覧ください。



今回ご紹介した正東山日本寺。その別名はなんと呼ばれているでしょうか。次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 「さくらのお寺」
- ② 「あじさいのお寺」
- ③ 「つつじのお寺」

取材協力・撮影協力・写真提供/ジェイアールバス関東株式会社、成田市三里塚御料牧場記念館、正東山日本寺、澁谷嘉助旧宅正門、大本山成田山新勝寺、エムクッペ

2024.11
(次回発行予定/2024年12月20日)

プラスαで、未来とともに。
京葉銀行

ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行 情報誌

LINEからも「バスで行く! 千葉の小さな旅」を配信しています。

LINE
公式アカウント



正解は→② 「あじさいのお寺」